

# 災害への備えについて（お知らせ）

## 地域の危険な区域を確認しましょう

ひなんに関する情報は、  
土砂災害警戒区域や浸水想定区域などの**危険区域を対象に発令**します。地域の危険な区域やひなん場所を、あらかじめハザードマップ※で確認しましょう。  
※ハザードマップ(土砂災害・洪水・津波)は、市ホームページでご確認ください ➡



## ひなん先を確認しましょう

### お住まいが災害危険区域にある場合

ひなん先として、**安全な場所にある親族・知人宅や市が開設するひなん場所**※1などが考えられます。家族や友人などと相談して、**あらかじめひなん先を決めておきましょう**。  
なお、津波などの浸水に対しては、早めに浸水想定区域外の高台など安全な場所にひなんすることが原則ですが、高台などに行くことが難しい場合のために近くの浸水時緊急退避施設※2を確認しておきましょう。

### お住まいが災害危険区域にない場合

**災害時に自宅で生活できなくなった場合に備えて、市が開設するひなん場所などひなん先を確認しましょう。**

※1 原則、小学校区内の拠点的なひなん場所（1箇所）を開設します。市が指定する全てのひなん場所を開設するわけではありません。

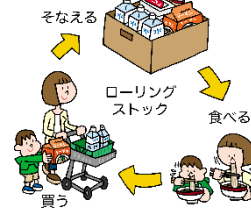
※2 津波や洪水、高潮等の際に、緊急一時的に退避するための施設です。

市が開設するひなん場所や浸水時緊急退避施設は、市ホームページでご確認ください。➡



## 必要なものを備蓄しましょう

災害に備えて、  
**3日分（できれば1週間）の食料や飲料水などを備蓄**しましょう。  
生活の中で使っているものを多めに買い、消費しながら買い足す「**ローリングストック法**」なら、効率よく備蓄ができます。



## 非常持ち出し品を準備しましょう

ひなん先で過ごすために必要なものを、非常持ち出し品として準備しましょう。

- 持ち出し品の例
- 水（500mlを3本程度） □ 非常食（缶詰、ビスケットなど）
  - 懐中電灯・ヘッドライト □ 携帯ラジオ □ 乾電池 □ 携帯電話（充電器も）
  - 現金（小銭を多めに） □ 衣類 □ タオル □ 雨具 □ マスク
  - 手帳（健康保険証、障害者手帳、介護保険証、おくすり手帳など）
  - 普段から服用している薬 など



## 防災情報を入手しましょう

防災情報を入手することは、ひなんの判断をするうえで、とても大切です。

### テレビ（データ放送）

**リモコンのdボタン**を押すと、データ放送画面が表示され、気象情報やひなん情報などの防災情報を確認することができます。



### 広島市防災情報メール

ひなん情報の発令や、開設中のひなん場所などの情報をメールで受け取れます。



**entry@k-bousai.city.hiroshima.jp**  
登録用メールアドレスに空メールを送って事前登録をしてください。

### ファクスによるひなん情報等の提供



聴覚障害者でファクスを所有する方は、ファクスでひなん情報等を受け取るサービスを利用できます。詳しくは市ホームページをご確認ください。

### ひろしま避難誘導アプリ

ひなん情報などをお持ちの携帯電話に自動的に表示してお知らせしたり、現在地の危険度や開設している最寄りのひなん所へのルートを表示したりします。

ひろしま避難誘導アプリ「**避難所へGo!**」



詳しくは市ホームページをご確認ください。



## 早めの ひなんを心がけましょう

災害危険区域にお住まいで、ひなんに時間がかかる人は、

「**警戒レベル3 高齢者等避難**」が発令された段階で ひなん行動をとってください。

